

# 「小郡市食料・農業・農村基本計画」に則った 平成28年度事業報告〈概要版〉

## 〈「農業」の部〉

### 1 多様な担い手の育成・確保

#### (1) 認定農業者等の担い手の育成・確保

##### ○小郡市認定農業者の会

- ・情報発信・消費者との交流  
キリン花園ポピーフェスタ・オータムフェスタへの出店  
三井高等学校への野菜提供
- ・研修会・交流会への参加または開催  
パートナー研修（大村）、男の料理教室  
パソコン講座、女性未来農業創造シンポジウム  
全国農業担い手サミットinぎふ、農業団体人権研修会  
研修交流会（6次産業化講演会）、役員視察（佐賀）



〈役員視察・佐賀市下水浄化センター〉

- ・営農相談会及び認定審査の開催

##### ○人・農地プランの展開

担い手の増減に合わせ改訂

##### ○研修会の開催

- ・雇用型経営研修会、企業的農業経営研修会
- ・三井地区雇用型農業経営研修会



〈役員視察・ブーゲンハウス嬉野〉

##### ○集落営農組織の法人化

- ・法人化アドバイザー事業実施：平方営農生産組合
- ・法人化意向調査：福童、西島、鎌太郎、津古、高島、八坂、下鶴、井上
- ・法人化研修：赤川（OFA）

#### (2) 新規就農者及び後継者の育成・確保

##### ○相談窓口

県発行「農業はじめてガイド」及び県HP「農業せんね！福岡で」に、市農業振興課の連絡先を掲載。

##### ○図書館海援隊講演会

「図書館海援隊講演会 お仕事拝見シリーズ」に講師として参加

##### ○青年就農給付金制度（経営開始型）を活用

- ・個人受給者：4人
- ・夫婦型受給者：5組（10人）

## 図書館だより

### 図書館海援隊講演会 お仕事拝見シリーズ いま、農業が熱い！一郡の農業事情

さまざまな仕事のプロにお話を聞く、図書館海援隊講演会。今年も農業がテーマです。

日時 9月11日(日)  
午前10時～正午

会場 文化会館小ホール

対象 高校生以上

定員 50人(要申込・先着順)

#### 内容

##### ①講演「いちごまみれ」

講師 白木秀弥さん(白木のいちご)

地元で親子2代にわたりいちごをつくっている白木さんにお話をさせていただきます。

##### ②レクチャー

講師 東園清隆さん(市農業振興課農政係係長)

農業を始めるためには、何を、どうしたらいいの？小郡市の農業の状況とあわせて説明していただきます。



## ○若年農業者の団体への活動支援

### ① 4Hクラブ

餅つき体験



芋ほり体験



### ② 三井植木研究会

## (3) 女性・高齢農業者等の多様な担い手への支援

### ○女性農業者への支援（研修等）

- 女性経営セミナー
  - 第1回「安全・正確な農薬使用について」
  - 第2回「我が家の経営～就農から今後の展開まで～」  
「トラクター等農機操作研修」
  - 第3回「見て聞いて学ぶ流通の工場」：女性経営セミナー  
視察先：鳥栖キューピー工場、福岡大同青果、ふくれん宮田工場
- パートナー研修会  
先進地視察



〈 パートナー研修（おおむら夢ファーム シュシュ） 〉

## 2 収益性の高い農業経営の確立、競争力のある産地の育成

### (1) 収益性が高く安定的な農業経営の確立と地域農業の維持確保

#### ○補助事業の活用

- ① 水田農業担い手機械導入支援事業（県）
  - ・米・麦・大豆用の機械を導入する際に支援できる事業
- ② 産地パワーアップ事業（国）
  - 活力ある高収益型園芸産地育成事業（県）
  - ・パイプハウス等施設や園芸用機械を導入する際に支援できる事業
- ③ 小郡市園芸施設等整備事業（市）
  - ・県事業の要件を満たすことが難しい農家に対する事業



〈①参考:コンバイン〉



〈②参考:播種機〉

○農地中間管理事業等の活用



〈③参考:保冷库〉

## (2) 産地銘柄の確立（ブランド化）と6次産業化の促進

○市内外への情報発信

- ・「認定農業者の会」による消費者交流会の開催を支援

○新たな付加価値を持った商品開発の推進

- ・民間団体による「七夕枝豆」特産品化の動きを支援



〈七夕神社での「種子のお祓えのみまつり」〉



〈七夕枝豆PRポスター〉

○6次産業化の推進

- ・6次産業化に関する講演会の開催  
講演「生産で勝てる農家へ！  
事業経営の最初の一步」  
講師：脇坂 真史氏  
(株)Agri Innovation Design 代表取締役)

本講演は、経営に携わる人材に求められる意識、思考、コミュニケーション、行動について学ぶ場となり、現状の課題を考える契機となることを望み開催しました。

[6次産業化]で増収!?

明日の小郡の農業を考える講演会

講演 「生産で勝てる農家へ！事業経営の最初の一步」



株式会社 Agri Innovation Design  
代表取締役  
お名前  
**脇坂 真史 さん**

—講師プロフィール—

1983年 北海道神楽町出身  
東京農業大学 食料環境経済学系卒業  
(農学専攻)  
農林水産省専修「女性農業次世代リーダー育成塾」  
プロデュース・講師・事務局 等多岐  
農業・地域活性化プロデューサーとして全国各地で活躍

—講演会のあらまし— 6次産業化は、農産物等の向上をもたらすと書かれていますが、「生産」以上に時間と労力が割かれることから、生産者が参入しかねている現状があります。のセルフ経営塾により、現在の経営状況を再認識し、課題に基づいて、経営体制を構築するなどの課題を解決するための講演会となることとします。

『農業所得を増やしたい!』方におすすめの講演です。

日時 平成29年1月24日(火)

\* 申込不要  
\* 入場無料

開演 : 午後2時~4時30分(受付 午後1時30分~)

場所 小郡市人権教育啓発センター (小郡駅前)

1階 大集會室

主催: 小郡市農産振興課(協賛)

共催: 小郡市認定農業者の会

発行 0942-72-2111 増 113

○教育機関等との連携

- ・「きなこ☆ぼうる」の作成、頒布、販売（平岡学園とJAみいと共同企画）



東京の日本橋で行われた小郡市のPRイベント「福岡おごおり発！七タの里のめぐみ・魅力フェア」（H27.10.22～23）で無料配布されるために発案された「きなこぼうる」。

28年度の平岡学園文化祭では、小郡産大豆について学習を深め、その研究成果の発表と合わせてきなこぼうるを販売。

## 4 環境保全型農業の推進と自然循環機能の維持

### (1) 環境に配慮した農業生産の推進

○環境に配慮した農業

① 環境保全型農業

- ・4グループ、対象面積：4,788a
- ・取り組み内容：カバークロープ+IPM、有機農業（2グループ）、堆肥の施用

② 「あすてらすフェスタ（10/30）」・「オータムフェスタ（11/27）」において、環境保全型農業実施者が取組状況についてPR



〈 あすてらすフェスタでのPR活動 〉



〈 オータムフェスタでのPR活動 〉

○各種エコ農業の促進

### (2) 自然循環機能の維持増進

○耕畜連携（24件）

畜産農家と耕作農家が協定を結び、水田で生産した飼料用作物を畜産農家に提供するとともに、家畜の堆肥を水田に還元し、土づくりを行う事業。



〈 耕畜連携 〉



〈 堆肥散布 〉